

大型自動洗浄機と光触媒加工でじゅうたんクリーニングを革新

株式会社アートマルワ 奈良県奈良市

じゅうたん・カーペットクリーニングの株式会社アートマルワは、大型洗浄設備の導入、「自然素材洗浄剤」と「光触媒加工」といった独自の技術による高付加価値化により、「下請け企業」から「エンドユーザーへのサービス提供企業」への転換に果敢に挑戦し続ける。

下請脱却を図るなかで売上半減の逆境にも直面したが、「今までのやり方ではなく自分たちのやり方」を追及し、オンリーワンを目指す活動で、新しい発想による販路開拓に成功した。

その経営計画は高く評価され、平成16年、奈良県知事から「経営革新計画」として承認を受け、中小企業庁からも成功事例として注目されている。

会社概要



会社名：株式会社アートマルワ
所在地：奈良県奈良市小倉町倉立
1161-1
電話：0743-84-0327
FAX：0743-84-0328
設立：1988年（昭和63年）
代表者：代表取締役社長 嶋田 篤
資本金：2,000万円
従業員：正社員7名
事業：じゅうたん・カーペット
クリーニング業



世界一厳しい瀬戸内海排出基準をクリアする廃水処理設備

オンリーワンの企業を目指し下請脱却へ

名阪国道小倉インターに近接する株式会社アートマルワ。大阪で紙器製造業を営む先代社長、嶋田吉紘氏（現会長）が、新工場用に買収した用地の交通の便の良さと住居環境意識の高まりに着目し、当地にてじゅうたんクリーニング専業工場を建設したものである。

従来の事業とは全くの畑違いであったが、国内に5台しかないという大型自動洗浄機の導入により、地域オンリーワン企業としての発展を視野に入れてのチャレンジであった。

ただ、創業当初は大手クリーニング業者の下請けからのスタートで、受注量は順調に伸びたものの収益は上がらない体质だった。そこで、安全・安心で優しいクリーニングシステム開発を基に、独自の受注ルート開拓に乗り出した。

受注半減から、売上回復・利益アップへ

下請からの脱却を図るため下請の仕事を縮小した結果、注文は半減した。しかし、「独自の技術により付加価値を付けることで、オンリーワンの企業として認められることを目指しました」と嶋田篤現社長は当時を語る。そして、「理想は高く。今までのやり方ではなく自分たちのやり方」を追及する経営革新がスタートした。

<大量処理体制の完成でオンリーワンを目指す>

創業当初から、シミ抜き専門家の元に技術者を派遣するなど、クリーニング技術の向上と人材育成を重視してきた。その結果、技術力は、大手企業の貴賓室やホテルなどの大型のじゅうたんクリーニングも受注できるまでになった。

また同社では、5mのじゅうたんにも対応できる大型設備をいち早く導入し、ほこりを落とす工程から洗浄、すすぎ、乾燥、梱包までを一貫して自社で行える大量処理体制を完成させた。

<天然洗浄剤と光触媒で「洗い」の品質向上>

同社の工程は、じゅうたんからほこりなどを取り除いたうえで、天然素材の洗浄剤で丸洗いし、さらに抗菌・防臭効果をもたらす「光触媒加工」を表面に施す。

この洗浄剤は、赤ちゃんや小さな子供にも安心なことから「マザータッチ」と呼ばれ、ミネラルやハーブ（天然青森ヒバエキス・天然オレンジエキス）を使用した天然素材である。

大型洗浄機で深部まで丸洗い洗浄した後、充分にすすぎ、さらに、大型乾燥室で約70℃の温風で乾燥し、ダニや雑菌等を取り除く。

また、すすぎの後に撒布される光触媒は、安全性に優れ食品成分にも指定されている二酸化チタンを基にしたもので、長期に渡り抗菌防臭・消臭作用に優れることで知られる。

<異業種との連携で販路開拓>

下請からの脱却にあたって、受注面でまず注目したのが異業種との連携である。

環境問題に敏感な各種大手企業や協同組合などの新規取引先が徐々に増加し、中でも大手引っ越し事業者との連携は、引っ越しの際にじゅうたんクリーニングができるというので、同社の一貫処理設備による即応性が発揮されている。

また、大手レンタル事業者といった、当初は思いもよらなかった業界からも大型洗浄機が注目され、イベント用のテントやカーペットのクリーニングの受注が舞い込み、冬から春にかけての閑散期もしのげるようになった。

■ エンドユーザー志向で販路拡大を目指す

今後の展開として、同社が力を入れているのが個人エンドユーザー獲得である。大手クレジットカード会社のネット販売部門との連携や、いくつかのクリーニングチェーンとの連携で消費者へのアプローチを強めている。

これまで家庭では、室内環境に不安を抱えながらも、じゅうたん・カーペットはなかなか洗えなかつた。しかし、家庭で直接梱包できる「発送キッ

<じゅうたん・カーペットクリーニング丸洗い工程>

じゅうたん・カーペットが届くと、まず、汚れやシミの種類や程度、破れ、ほつれなどを入念に検査してカルテを作成。最も適したクリーニングの方法を考えて作業を開始する。



▼脱塵

ダニ、ゴミ、ホコリをたたいて浮かし、吸い取る。



▼シミ抜きポイント洗浄

シミの種類をチェックし、最適な洗剤を選択しきれいに落とす。



▼自動洗浄

ボリッシャーブラシで均等に毛並みを立ち上げ、深部まで洗浄。



▼すすぎ

充分なすすぎで、ゴミやダニなどの不純物を取り除く。



▼光触媒撒布

壁面のノズルから光触媒が撒布される。



■乾燥

高温自動連続乾燥機により、約70℃の熱風で約5時間かけて両面を乾燥。

ト」を開発し、提携宅配業者が引き取りに訪問するまでをセットしたサービスを開始したことで、今では、関西、北陸、中部地方を中心に、受注は全国的な広がりをみせるまでに至った。

下請脱却、新販路開拓には多大なコストが問題になるが、同社では、高い理想を掲げる革新意識と、新しい発想の販路開拓で、その状況を打開し着実に成長を遂げている。

（山城、島田）